

「スマートバッチャープラント®」がNETISの 活用促進技術に指定されました

株式会社原商（島根県松江市 代表取締役社長 秀浦淑晃）が開発した「スマートバッチャープラント®」が、国土交通省のNETIS（新技術情報提供システム）の新技術活用評価会議において「活用促進技術」に指定されました。
NETIS登録番号：CB-180023-VE



・スマートバッチャープラント®とは

「スマートバッチャープラント®」は、山岳トンネル工事の吹付けコンクリートの製造温度を自動で安定させることが可能なコンクリート製造設備です。季節的なコンクリート温度の変動による品質のばらつきを抑制し、コンクリート材料のパフォーマンスを最大化します。また、練混ぜ実績データをクラウド上で管理できるため、材料管理や品質管理等の管理業務の効率化を実現しています。

・活用促進技術に指定されると

- ①NETISで活用促進技術に指定されたことが公開されます。
- ②発注者（本省・地方整備局）は、全国展開が望ましい技術として暫定歩掛や特記仕様書作成例等を作成するとともに、計画的に当該技術の活用の促進を図っていきます。また、発注事務所は、特記仕様書で当該技術の使用を指定する「発注者指定型」として工事を発注することにより、活用の促進に努めていきます。
- ③入札参加者（施工者）が活用促進技術を総合評価方式における技術提案で提案した場合、その審査において他の技術を提案した場合よりも高く評価される可能性があります。
- ④総合評価方式の技術提案や請負契約後のVE提案で活用促進技術を提案して実際に活用した場合、竣工時の工事成績評価において他の技術を提案した場合よりも高く評価される可能性があります。

・クラウド管理による働き方改革

スマートバッチャープラント®では練混ぜ実績データをデジタル化し、インターネット（クラウド）を介して遠隔で取得することができます。この練混ぜ実績データには、コンクリート温度や表面水率などの品質に関するデータ、設計や実績支保パターンなどの施工に関するデータが含まれており、管理帳票変換機能によって自動でとりまとめられます。

また、バッチャープラントの入口や内部にWebカメラを設置することにより、ミキサー車の出入りや骨材の在庫状況などの映像をPCやスマートフォンで確認できます。これらの工夫により、施工管理者は練混ぜ実績データとWebカメラ映像を遠隔で取得し、吹付けコンクリートに係る品質管理や材料管理業務を短時間で処理することが可能となり、管理業務の省力化や管理レベルの向上にもつながると期待されます。

- 原商（スマートバッチャープラント®）ホームページ



- NETISホームページ



【お問合せ先】

株式会社原商
永瀬 晶洋（ナガセ アキヒロ）

固定電話：0852-66-1113
携帯電話：080-6315-4042
Email：a-nagase@harasho.co.jp